EP-803A　EP-803AW　準備ガイド「はじめにお読みください」

本製品を使用可能な状態にするまでの手順を記載しています。ご使用の前には必ず『操作ガイド』―「製品使用上のご注意」をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

1. 箱の中身を確認

万一、不足や損傷しているものがあるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

□ 本体

□ セットアップ用インクカートリッジ（6 色）
本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。

□ 電源コード

□ USB ケーブル
本製品を USB 接続するときや無線 LAN の設定をするときに使用します。有線 LAN 接続するときは不要です。

□ ソフトウェアディスク
ソフトウェアと電子マニュアルが収録されています。

□ CD/DVD 印刷位置確認用シート（紙製）

- □ 準備ガイド（本書）
- □ 操作ガイド
- □ 保証書
- □ 周波数のご注意が書かれたステッカー（本製品の目に付く場所にお貼りください）

2. 保護テープ・保護材の取り外し

保護テープや保護材をすべて取り外します。プリントヘッドを固定している保護材は引っ越しや修理などの輸送時に必要となりますので、本製品内部に保管しておいてください。保護材の形状や個数、貼付場所などは予告なく変更されることがあります。

⚠注意	スキャナーユニットの開閉の際には、指などを挟まないように注意してください。特に、スキャナーユニットの背面には手を近付けないようにしてください。

- スキャナーユニットの開閉は、原稿カバーを閉じた状態で行ってください。
- 製品の内部は、操作部分（赤色で示した部分）以外には手を触れないでください。

保護テープや保護材をすべて取り外す → スキャナーユニットを開ける → 本製品内部や排紙トレイなどの保護材・保護テープも忘れずに取り外す

プリントヘッドを固定していた保護材を取り外し、本製品内部に保管する → スキャナーユニットを閉じる

3. 設置・電源の接続

⚠警告	AC100V 以外の電源は使用しないでください。

漏電による事故防止について
本製品の電源コードには、アース線（接地線）が付いています。アース線を接地すると、万が一製品が漏電したときに、電気を逃がし感電事故を防止できます。コンセントにアースの接続端子がない場合は、アース線端子付きのコンセントに変更していただくことをお勧めします。コンセントの変更については、お近くの電気工事店にご相談ください。アース線が接地できない場合でも、通常は感電の危険はありません。

水平で安定した場所に設置 → 本体とコンセントに接続 → 上記画面を確認

アース線は、アース線の接続端子があるときのみ接続してください

エラーが発生したときは？
一旦電源をオフにした後、再度手順 2「保護テープ・保護材の取り外し」を確認し、電源を入れ直してください。

4. 操作パネルの角度調整

操作しやすいように操作パネルの角度を調整できます。

操作パネルを持って引き上げる → 必ず［パネルロック解除］ボタンを押しながら下げる

5. セットアップ用インクカートリッジのセット

初回は必ずセットアップ用インクカートリッジをご使用ください。

黄色いフィルムをはがす（他のラベルなどははがさない） → スキャナーユニットを開ける → 本体のラベルの色を確認して 6 色すべてをセット → しっかりと押し込む

- スキャナーユニットを開けない
- 電源を切らない

スキャナーユニットを閉じる → 上記画面が表示されるまで待つ → 初期充てん完了

初期充てんが始まらないときは？
インクカートリッジをしっかりセットし直してください。

※ 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。
そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
※ カタログなどで公表されている印刷コストは、JEITA（社団法人電子情報技術産業協会）のガイドラインに基づき、2 回目以降のカートリッジで算出しています。

6. 用紙のセット

詳細は『操作ガイド』16 ページ「印刷用紙のセット」をご覧ください。

用紙カセットを引き抜く → 上トレイを奥までスライドさせて上げる → エッジガイドをつまんで広げる → 用紙サイズのマーク（線）に合わせてセットする（印刷する面は下） → エッジガイドを合わせ上トレイを下げる → 用紙カセットをセットする

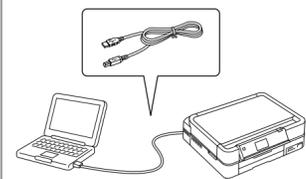
411904900

2010 年 6 月発行
Printed in XXXXXX

7. パソコンとの接続方法を選ぶ

本製品では以下の接続に対応しています。まずは、あなたが接続したい方法を選んでください。

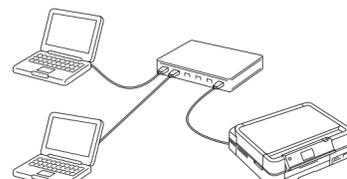
- 本製品で無線 LAN・有線 LAN の接続を同時に利用することはできませんが、USB 接続とは同時に利用することができます。
- 弊社では、専門スタッフが訪問してパソコンと本製品の接続を設定する「おうちプリント訪問サービス」（有償）をご提供しています。詳細はエプソンのホームページでご確認ください。
< http://www.epson.jp/support/houmon/ >

USB で接続

ここではまだケーブルは接続しないでください。
手順 8 で接続します。

準備するもの

□ 付属の USB ケーブル

プリンターの電源をオフにします。

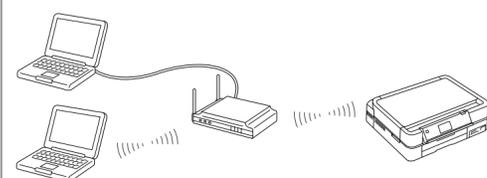
有線 LAN で接続

あらかじめパソコンがネットワーク接続されている必要があります。
お使いのパソコンに LAN ケーブルが接続されていたら、有線 LAN で接続されています。

準備するもの

□ 市販の LAN ケーブル

□ 市販のネットワーク機器
（ブロードバンドルーターやハブ（HUB））
□ ネットワーク機器のマニュアル

無線 LAN で接続

アクセスポイント・ブロードバンドルーターを介した無線接続（インフラストラクチャーモード）

あらかじめパソコンがネットワーク接続されている必要があります。
右ページ「お使いのパソコンで無線 LAN 接続ができるかわからないときは」へ

準備するもの

□ 付属の USB ケーブル

※ 無線 LAN 接続設定は、一時的に USB を使用します。

□ 市販のネットワーク機器
（アクセスポイントやブロードバンドルーター）
□ ネットワーク機器のマニュアル
※ ネットワーク機器に関することは、こちらのマニュアルでご確認ください。

その他の接続方法

- 手動設定：ネットワークの設定を手動で行います。
- アドホックモード：アクセスポイントを経由せずに、無線で直接通信します。
※ Windows 2000 は非対応。

接続手順

① 一旦、「USB で接続」で手順 8 を最後まで行い、インストールを完了します。
② その後、パソコンのデスクトップにできる［ネットワークガイド］のアイコンをダブルクリックして開きます。
③「ネットワーク設定」をご覧になり、接続方法を変更してください。

選んだら手順 8 へ

※ ネットワーク接続の変更・再設定の方法は『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。

8. ソフトウェアディスクをセット

必要なソフトウェアのインストールと、パソコンの接続設定を行います。

ソフトウェアディスクをセット

「簡単インストール」を選択

上記画面が表示されたら完了です。

- Windows 7・Windows Vista で［自動再生］画面が表示されたら、［EPSETUP.EXE の実行］をクリックします。続けて表示される「ユーザーアカウント制御」画面では作業を続行してください。
- 「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して続行してください。
- Windows でソフトウェアディスクをセットしても画面が表示されないときは、［マイコンピュータ］（または［コンピューター］）の中の CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［EPSETUP］アイコンをダブルクリックします。

以上で準備は終了です。この後は『操作ガイド』（紙マニュアル）をご覧ください。

本製品の対応 OS は以下の通りです。なお、最新の OS 対応状況の詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/support/taiou/os/ >

Windows
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版

本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）の総称として「Windows」と表記しています。

Mac OS
Mac OS X v10.4.11 ～ 10.6.x
本書では、上記の OS（オペレーティングシステム）を「Mac OS X」と表記しています。

お使いのパソコンで無線 LAN 接続ができるかわからないときは

パソコンでネットワーク設定画面を表示します。

Windows 7　：［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［アダプターの設定の変更］の順にクリック
Windows Vista：［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークの状態とタスクの表示］－［ネットワーク接続の管理］の順にクリック
Windows XP　：［スタート］－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット接続］－［ネットワーク接続］の順にクリック
Windows 2000：［マイネットワーク］アイコンを右クリックして、［プロパティ］を表示
Mac OS X　：［アップル］－［システム環境設定］－［ネットワーク］の順にクリック

無線 LAN 接続するための機器がパソコンに搭載されているときは、以下のように表示されます。
アイコンは OS のバージョンにより異なります。

<Windows>

アイコン	説明
	パソコンは、アクセスポイントと無線 LAN 接続されています。
	無線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。パソコン・アクセスポイントなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。

<Mac OS X>

アイコン	ランプの色	説明
	緑	パソコンは、アクセスポイントと無線 LAN 接続されています。
	赤またはオレンジ	無線 LAN 接続するための機器が認識されていますが、正常に動作していません。パソコン・アクセスポイントなどのマニュアルをご覧になり、接続設定を行ってください。

インストール中にわからないことがおきたときは

無線 LAN 接続で［このままソフトウェアで設定］と［操作パネルで設定］のどちらを選べばよいかわからないときは

お使いのネットワーク環境によって 2 種類の方法が選べます。ネットワーク環境がわからないときは、パソコンのネットワーク設定を行った方にお問い合わせください。

無線 LAN 接続で、「無線ネットワーク名」や「セキュリティーキー」を入力する画面が表示されたときは

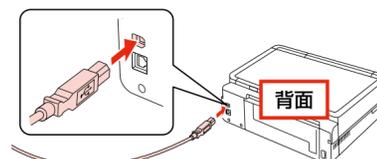
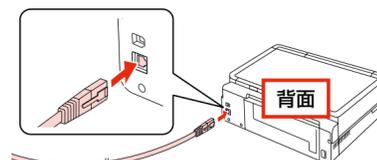
お使いのネットワーク環境によっては、無線 LAN 情報の入力が必要になることがあります。この情報は無線 LAN 機器ごとに設定されていますので、お使いの無線 LAN 機器のマニュアルでご確認いただくか、ネットワーク設定を行った方にお問い合わせください。
- SSID（無線ネットワーク名）
- 暗号化などのセキュリティーキー（パスワードなど）

無線 LAN・有線 LAN で接続エラーが表示されたときは

画面の指示に従い、機器の接続を確認してやり直してみてください。それでもエラーが表示されるときは、「ネットワーク接続診断」*を行ってください。詳しくは、『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「ネットワーク接続の確認」をご覧ください。
『ネットワークガイド』（電子マニュアル）は、パソコンのデスクトップ上のアイコンをダブルクリックして表示します。

＊：プリンターとパソコンがつながらないなどのトラブル発生時、どこに問題があるかを診断します。

ケーブルの接続方法がわからないときは

■USB ケーブルの接続方法

■LAN ケーブルの接続方法

画面の説明がわからないときは

以下の内容を確認して、インストールを進めてください。

■新しいハードウェアを追加するためのウィザード画面が表示されたとき（Windows のみ）

選択している接続方法により対応が異なります。
- USB 接続
本製品の電源をオフにし、［キャンセル］をクリックして画面を閉じてください。
- 無線 LAN 接続または有線 LAN 接続
何もクリックせずにインストールを続行してください。

■セキュリティーに関する画面が表示されたときは

- インストール中やパソコンの再起動後に右の画面が表示されたときは、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

- 市販のセキュリティーソフトが表示した画面で［ブロックする］や［遮断する］はクリックしないでください。

市販のセキュリティーソフトの中には、以上の作業をしても通信できないものがあります。そのときは、市販のセキュリティーソフトを一旦終了してから、本製品のソフトウェアをインストールしてください。

■Windows でファイアウォール警告画面が表示されたとき

［Windows ファイアウォールに登録］チェックボックスを選択して［次へ］をクリックしてください。

■メモリーカードスロットのファイル共有設定画面が表示されたとき

［読み取り専用］を選択して［次へ］をクリックしてください。ネットワークで接続したパソコンからメモリーカードスロットを読み書きしたいときは、［読み書き可能］を選択してください。この設定は後から変更できます。設定方法は、『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。